

参画と協働による施策実施ガイドブック

をご活用ください！

地域課題や県民ニーズが多様化するなか、住みやすい地域づくりをすすめるために、県民と行政がそれぞれの特性を生かして「参画と協働」に取り組む必要性が高まっています。

本書では、職員のみなさんが、参画と協働の考えに基づいた施策・事業の立案、実施をする時の参考となりますよう、「参画と協働に取り組む職員の心構え」とともに、「参画と協働の21のチャンネル(手法)」について、活用のポイントや留意事項などをコンパクトにまとめています。

どうすれば多様な県民ニーズにあった施策を実施できるのか、県民の共感を得て、満足度を高めることができるのか、などについて、このガイドブックを手がかりに職員一人ひとりが考え、参画と協働の県政を実践していきましょう。

本書の特色

施策の立案・実施の4つの段階の流れを概観

参画と協働による施策立案・実施にあたっての心構えや、「ともに知る、ともに考える、ともに取り組む、ともに確かめる」の4つの段階での留意点をわかりやすく解説。

参画と協働のチャンネル(手法)を紹介

4つの段階ごとに活用できる参画と協働の21のチャンネル(手法)ごとに、活用のポイントや留意事項を解説。

- 【手法例】 相談対応(ともに知る)
モニター(ともに考える)
ボランティアとの連携(ともに取り組む)
公開審査会・報告会(ともに確かめる)

参画と協働に取り組む職員のリアルな姿を掲載

「普及指導員の1日」「地域協働課職員の1週間」など、実際に地域に飛び出して、県民と一緒に事業に取り組んでいる職員の活動を紹介。

参画と協働のトピックを掲載

SNS や地域通貨などの最近の話題を紹介。

冊子のほか、全庁共有文書(カテゴリ：参画協働課関係)に掲示しています。詳しくは、下記連絡先までお問い合わせください

本書の内容

参画と協働の進め方

- 1 参画と協働の4つの段階(フェーズ)
- 2 市町と県との関係

参画と協働の手法(チャンネルの活用)

- 1 手法(チャンネル)活用の手順
- 2 手法(チャンネル)の選択と活用方法
 - (1) ともに知る(共通)
 - (2) ともに考える(施策・事業の企画立案)
 - (3) ともに取り組む(施策・事業の実施)
 - (4) ともに確かめる(施策・事業の評価・検証)

参考資料

- 参考1 本県における参画と協働の取り組み
参考2 参画と協働の手法(チャンネル)活用の現状と課題



兵庫県県民政策部地域協働局参画協働課 参画協働システム係

〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1

E-mail : ks_sankaku@pref.hyogo.jp

T E L : 078-341-7711 (内線 2714)

F A X : 078-366-0167